



うみやまずぶ

北近畿の魅力あふれる
各地をむすぶ新観光列車
「うみやまずぶ」

2019年7月にデビュー。「しあわせ結び宝箱」をコンセプトに、旅先でのさまざまな出会い、気持ちの触れ合いといった「しあわせなご縁を結ぶ」旅をイメージしました。



JR-West's Business Report
株主の皆様へ

第33期 中間事業報告

2019年4月1日 ⇒ 2019年9月30日



「こうのとりに」287系

但馬エリアのシンボルとして親しまれているコウノトリにちなみ、2011年3月に列車名を「北近畿」から「こうのとりに」に改称。あわせて運転を開始した287系は、車体強度を向上し、さらに安全性を高めるとともに、座席の足元スペース拡大や女性専用トイレ設置なども行い、お客様に快適なサービスを提供しています。

西日本旅客鉄道株式会社

証券コード：9021

運行区間 新大阪～福知山・城崎温泉

株主の皆様へ

平素は、JR西日本グループの事業運営にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、12月1日付で代表取締役社長に就任いたしました長谷川です。株主の皆様におかれましては、ご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当社グループは、2005年4月25日に福知山線列車事故を惹き起こした責任と重大性を重く受け止め、安全性の向上に向けて、ハード、ソフト両面からさまざまな取り組みを積み重ねてきました。

引き続き、私をはじめJR西日本グループの一人ひとりが使命感をもって、それぞれの立場で役割を誠実に実行し、安全な鉄道を築き上げていきます。

当社グループは、昨年「JR西日本グループ中期経営計画2022」と、その中核をなす「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」をスタートさせました。「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」との変わらぬ決意のもと、企業理念、経営ビジョンの実現に向けて計画を推進し、「めざす未来」である「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」づくりに貢献します。

株主還元につきましては、2022年度において配当性向35%をめざし、安定配当を行います。当期の中間配当につきましては、本年4月に公表いたしました配当予想のとおり、1株につき95円といたしました。あわせて、2022年度までの累計の総還元性向40%程度を目安とし、機動的な自己株式取得も行っていきます。なお、当期は当社普通株式1,146,900株の取得及びその消却を実施しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、人口減少に伴う市場の縮小や労働力の減少等、社会構造の変化という面では大変厳しい状況にあると言わざるを得ませんが、一方で、訪日のお客様の増加、複数の大規模なプロジェクトの進行、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催等、成長の機会は今後も数多く存在しています。

このような中、私たちの強みである地域の皆様と連携する力、グループ一体で施策を推進する力を磨き続け、「めざす未来」からの視点に立ち「挑戦し続ける企業」となることで、社会、経済の発展に貢献し、中長期的な企業価値の向上に努めていきます。

そして、JR西日本グループ全体で成長に向けて絶えず進化し、未来を切り拓いていきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

長谷川一明

2019年12月

事業の経過及び成果

①全般の状況

営業収益

7,620 億円

前年同期 7,369億円 (3.4%増)

経常利益

1,216 億円

前年同期 1,058億円 (14.9%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益

804 億円

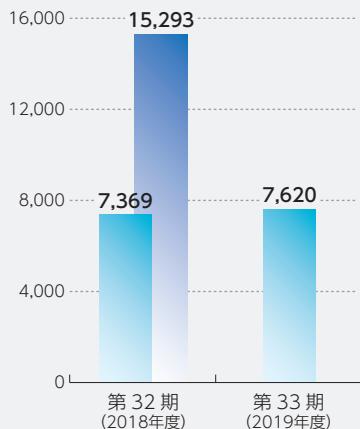
前年同期 564億円 (42.5%増)

当社グループは、「JR西日本グループ中期経営計画2022」及びその中核をなす「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」（以下、「安全考動計画2022」）に基づき、中長期的な企業価値向上に向けて、各種施策を着実に推進しました。

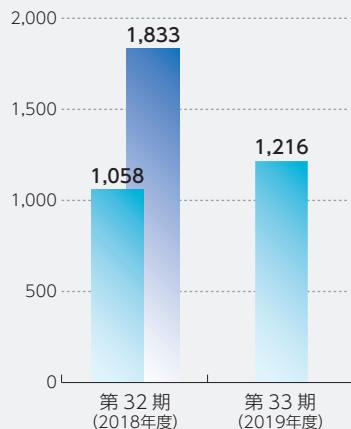
当第2四半期連結累計期間においては、多客期を含めて運輸収入が好調であったこと等により、営業収益は前年同期比3.4%増の7,620億円、営業利益は同13.7%増の1,288億円、経常利益は同14.9%増の1,216億円、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は同42.5%増の804億円となりました。

全般の状況

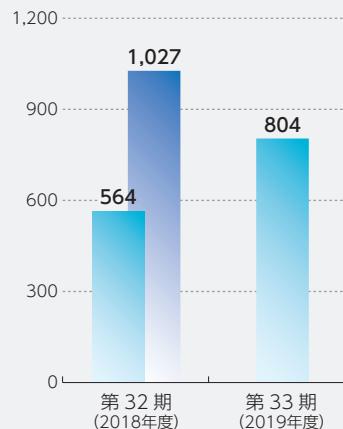
営業収益(億円)



経常利益(億円)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(億円)



②セグメント別の状況

運輸業

営業収益 4,910 億円
(前年同期比 4.2%増)

営業利益 1,031 億円
(前年同期比 17.4%増)

[安全性向上等]

当社は、2005年4月25日、福知山線塚口駅～尼崎駅間において、106名のお客様の尊い命を奪い、500名を超えるお客様を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。引き続き被害に遭われた方々への真摯な対応、安全性向上への弛まぬ努力を積み重ねるとともに、福知山線列車事故のような事故を二度と発生させないとの決意のもと、「安全考動計画2022」を策定し、ハード、ソフト両面から安全性向上の取り組みや安全マネジメントの仕組みづくりを進めました。

新幹線では、より安全性、信頼性を追求した新製車両への置き換えを進めています。また、走行中の台車の異常を把握するための装置の整備も推進しています。

ホームの安全対策としては、山陽新幹線の主要駅及び在来線のご利用の多い駅等におけるホーム柵の整備等を引き続き進めています。

激甚化する自然災害への対策としては、引き続き、斜面防災対策をはじめとした豪雨対策を行うとともに、地震に対しては、山陽新幹線における逸脱防止ガードの整備や、建物、高架橋等の耐震補強等の対策を進めています。

加えて、列車内における防犯対策も推進しました。

(主な具体的取り組み)

ア. 新幹線安全対策

- ・ 東海道・山陽新幹線を直通する700系車両の新製車両（N700A）への置き換え
- ・ 山陽新幹線での地上に設置する台車温度検知装置の整備推進



可動式ホーム柵（大阪環状線 京橋駅）

- ・N700系への台車異常検知装置の整備推進
- イ. ホーム、踏切の安全対策
 - ・京橋駅、三ノ宮駅の一部のりばのホーム柵使用開始（10月）
 - ・岡山駅（新幹線）等へのホーム柵の設置推進
- ウ. 自然災害対策
 - ・琵琶湖線、JR京都線の主に特急・新快速列車が走行する区間等における斜面防災対策の継続
- エ. 車内防犯対策
 - ・特急「はるか」車内への防護装具等の搭載や駅への防護盾の配備拡大（6月以降順次）

【営業施策等】

営業施策についてはCS（お客様満足）の向上を鉄道事業の基本戦略の一つに位置付け、お客様の多様なニーズにお応えする施策を推進しながら、訪日のお客様も含めたビジネス・観光需要の獲得、創出に取り組んでいます。

引き続き、CSの向上に向けた各種施策に取り組むとともに、新幹線における輸送サービスの品質向上、近畿エリアでの線区価値向上、西日本各エリアでの地域と連携した観光誘客等を進めました。

（主な具体的取り組み）

- ア. 新幹線
 - ・JR東海エリアの駅でのネット予約「e5489」の取り扱い開始（4月）
 - ・「熊本デスティネーションキャンペーン」を活用した九州方面への送客（7月～9月）
- イ. 近畿エリア
 - ・「はじまる、つながる、奈良の旅～おおさか東線全線開業記念～」キャンペーンの実施（3月～6月）
 - ・大阪環状線への新型車両「323系」の投入完了（6月）
- ウ. 西日本各エリア
 - ・山陰地区におけるアフターデスティネーションキャンペーンの実施（7月～9月）



山陰DCアフターキャンペーン
(7月～9月)

- ・「せとうち島たびクルーズ」の運行（5月～）
- エ. 訪日のお客様への対応
- ・「JR-WEST ONLINE TRAIN RESERVATION」での訪日のお客様向け専用商品の取り扱い開始（5月）
 - ・新大阪駅に「Travel Service Center SHIN-OSAKA」を開設（8月）
 - ・有カプラットフォーム（KLOOK、アリババ）等と連携した商品の販売促進（9月～）

バス事業、船舶事業（宮島航路）については、安全輸送を基本とし、お客様のご利用に応じた輸送改善等の実施により、利便性向上に努めました。

運輸業セグメントでは、これらの取り組みに加え、多客期等のご利用が好調であったこと等により、営業収益は前年同期比4.2%増の4,910億円、営業利益は同17.4%増の1,031億円となりました。

流通業

営業収益 **1,165** 億円
(前年同期比 2.5%減)

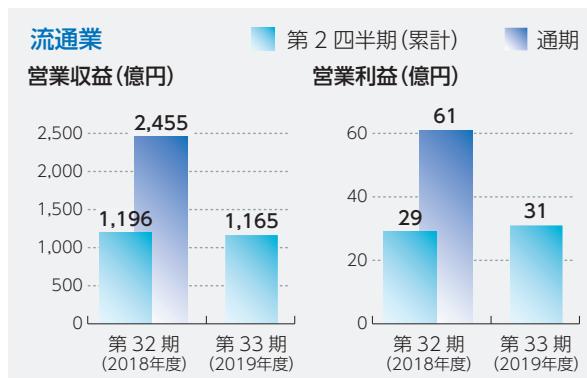
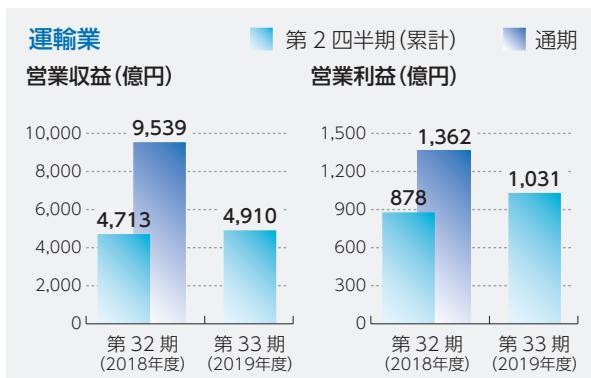
営業利益 **31** 億円
(前年同期比 5.1%増)

流通業については、直営業態の運営力を強化し、駅ナカの利便性向上を図るとともに、駅ソトへの展開も推進し、競争力のあるブランドの確立に向けて取り組んでいます。

百貨店においては、さらなる魅力向上のため、ジェイアール京都伊勢丹の2～5階の大規模リニューアルを、2020年春の完成に向けて段階的に進めました。

さらに、流通業セグメントに区分される宿泊特化型ホテルについては、「ヴィアイン」4店舗（京都駅八条口、博多口駅前、心斎橋四ツ橋、日本橋人形町）を5月から8月にかけて開業しました。

流通業セグメントでは、営業収益は駅ナカテナントとの契約方式の変更等により、前年同期比2.5%減の1,165億円となりましたが、営業利益は㈱セブン-イレブン・ジャパン提携店舗をはじめとする物販・飲食業の売上げが堅調に推移し、同5.1%増の31億円となりました。



不動産業

営業収益 **740** 億円
(前年同期比 7.1%増)

営業利益 **191** 億円
(前年同期比 4.9%増)

不動産業については、当社グループの保有資産の活用によりお客様の利便性向上や沿線価値向上につながる鉄道事業と親和性の高い事業と捉えて、ショッピングセンターの開発、運営や住宅分譲をはじめとする販売事業等を進めました。

さらに、当社鉄道の沿線外及びエリア外の有望市場についても、不動産販売、賃貸事業展開を進めました。

7月には、「ルクア大阪」を運営するJR西日本SC開発(株)と「天王寺ミオ」を運営する天王寺SC開発(株)とを合併しました。両社が保有するノウハウや人材等の経営資源を一元化し、グループSC全体で活用し、専門性に磨きをかけていきます。

また、9月にはJR西日本グループショッピングセンター共通ポイント及びスマートフォン向けアプリ「WESPO」のサービスを開始したほか、10月の広島駅の商業施設「エキエ」グランドオープンに向けた準備を進めました。

不動産業セグメントでは、不動産販売が好調であったこと等により、営業収益は前年同期比7.1%増の740億円、営業利益は同4.9%増の191億円となりました。

その他

営業収益 803 億円
(前年同期比 4.6%増)

営業利益 23 億円
(前年同期比 20.5%減)

ホテル業については、堅調な宿泊需要とお客様の多様なニーズに対応するため、訪日のお客様の受入体制整備等の運営力の強化や、新規ホテルの出店拡大等を推進しました。

5月には、ハイクラス宿泊主体型ホテル「ホテルヴィスキオ京都」を開業しました。今後も「ホテルグランヴィア」をはじめとするシティホテルや、宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」等とあわせて、多様なブランド構成で沿線外及びエリア外も含めて展開していきます。

旅行業については、訪日のお客様への営業展開を強化するとともに、法人営業における受注拡大、WEB専用商品をはじめとする個人向け商品の販売拡大等に取り組みました。

その他セグメントでは、営業収益は昨年開業したホテルの効果等により、前年同期比4.6%増の803億円となりましたが、営業利益は工事業での受注減の影響により、同20.5%減の23億円となりました。

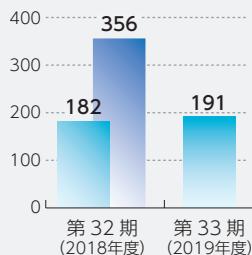
不動産業

営業収益(億円)



第2 四半期(累計) 通期

営業利益(億円)



その他

営業収益(億円)



第2 四半期(累計) 通期

営業利益(億円)



JR西日本グループの新ブランドホテル 「Potel(ポテル)」、2020年春頃誕生へ



外観イメージ

とした新たなホテル業態「コミュニティ型カジュアルホテル」の第1号店「Umekoji Potel KYOTO (梅小路ポテル京都)」の開業を2020年春頃に予定しております。

今後も、JR西日本グループとして地域と一体となった賑わいあるまちづくりに努めてまいります。

当社グループは、「JR西日本グループ中期経営計画2022」において、主要事業の深耕を基本戦略として掲げ、「駅からはじまるまちづくり」を進め、魅力的な商品やサービスを提供することで、まち全体の価値向上に貢献することをめざしています。

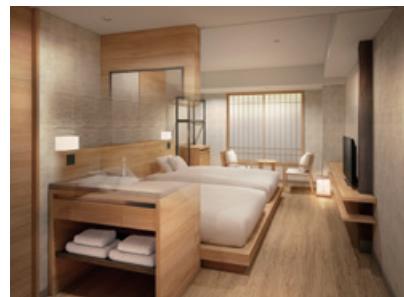
本年5月には、京都八条口周辺にハイクラス宿泊主体型ホテル「ホテルヴィスキオ京都」、宿泊特化型ホテル「ヴィアイン京都駅八条口」を開業いたしました。そして、国内外からの観光や個人レジャーのお客さまを主体



エントランスイメージ



レストランイメージ



客室イメージ

「WEST EXPRESS 銀河」を2020年春に運行開始!!

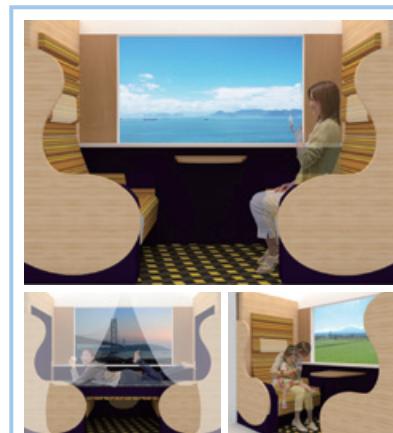
当社グループでは、地域との連携を通じ、観光を中心とした西日本エリアの活性化への貢献をめざしており、その一環として「WEST EXPRESS 銀河」を2020年春に運行開始します。

「WEST EXPRESS 銀河」は、「多様性」「カジュアル」「くつろぎ」をキーワードに、様々なお客様に鉄道ならではの旅を気軽に楽しんでいただくことをめざしています。

その概要の一部をご紹介します。



エクステリア



1号車 グリーン車指定席
「ファーストシート」



3号車 普通車指定席 (コンパートメント)
「ファミリーキャビン」

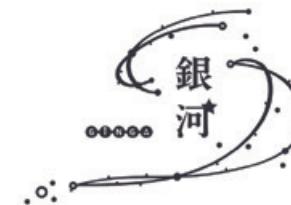


4号車 フリースペース
「遊星」

○ 列車名

WEST EXPRESS 銀河 (ウエスト エクスプレス ぎんが)

「銀河」とは、広い宇宙に存在する様々な星の集まりを指します。この列車が運行する西日本エリアを宇宙に、各地の魅力的な地域を星になぞらえ、それらの地域を結ぶ列車という意味を込めました。



ロゴマーク

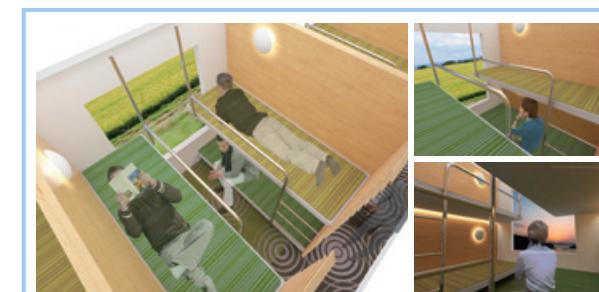
○ 列車概要

運行開始時期	2020年春
運行エリア	京阪神～山陰方面、 京阪神～山陽方面 等 ※ 臨時列車として、期間を定め 複数の区間を運行予定
車両	117系6両1編成を改造
座席	全車指定席

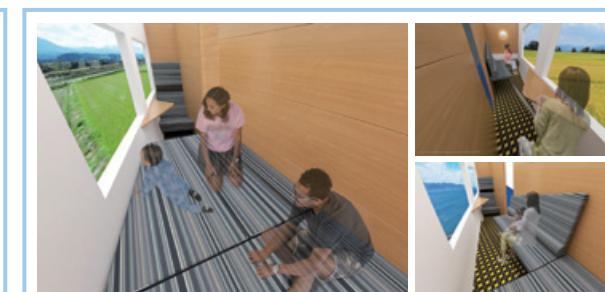
○ 設備

号車	設備	設備愛称
1号車	グリーン車指定席	ファーストシート
2号車	普通車指定席(女性席)	—
	普通車指定席(ノビノビ座席・女性席)	クシェット(女性席)
3号車	普通車指定席	—
	普通車指定席(コンパートメント)	ファミリーキャビン
4号車	フリースペース	明星(みょうじょう)
	フリースペース	遊星(ゆうせい)
5号車	普通車指定席(ノビノビ座席)	クシェット
	グリーン個室	プレミアムルーム
6号車	フリースペース	彗星(すいせい)
	フリースペース	—

※「ノビノビ座席」：横になりくつろげるフルフラットシート



5号車 普通車指定席 (ノビノビ座席)
「クシェット」



6号車 グリーン個室
「プレミアムルーム」

※2019年9月時点のイメージです

design and produced by Yasuyuki KAWANISHI + ICHIBANSEN / nextstations for WEST JAPAN RAILWAY COMPANY

四半期連結貸借対照表(要旨)

(2019年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間
(資産の部)	
流動資産	437,940
固定資産	2,775,577
有形固定資産	2,453,287
無形固定資産	34,727
投資その他の資産	287,562
資産合計	3,213,518
(負債の部)	
流動負債	581,055
支払手形及び買掛金	48,818
短期借入金	23,725
1年内償還予定の社債	35,000
1年内返済予定の長期借入金	38,902
鉄道施設購入未払金	1,658
未払金	70,386
未払消費税等	12,170
未払法人税等	33,179
前受運賃	57,949
前受金	55,062
賞与引当金	36,776
災害損失引当金	10,448
ポイント引当金	2,320
その他	154,656
固定負債	1,396,463
社債	519,985
長期借入金	336,021
鉄道施設購入長期未払金	101,894
繰延税金負債	1,431
新幹線鉄道大規模改修引当金	14,583
環境安全対策引当金	10,620
線区整理損失引当金	9,316
未引換商品券等引当金	2,217
退職給付に係る負債	261,858
その他	138,531
負債合計	1,977,518
(純資産の部)	
株主資本	1,121,736
その他の包括利益累計額	12,017
非支配株主持分	102,245
純資産合計	1,235,999
負債・純資産合計	3,213,518

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(2019年4月1日から2019年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
営業収益	762,035
営業費	633,162
運輸業等営業費及び売上原価	527,595
販売費及び一般管理費	105,567
営業利益	128,873
営業外収益	2,990
受取利息	19
受取配当金	365
受託工事事務費戻入	91
持分法による投資利益	1,238
その他	1,274
営業外費用	10,213
支払利息	9,779
その他	434
経常利益	121,649
特別利益	3,979
工事負担金等受入額	3,314
その他	665
特別損失	6,388
工事負担金等圧縮額	3,186
その他	3,201
税金等調整前四半期純利益	119,240
法人税、住民税及び事業税	29,858
法人税等調整額	7,409
四半期純利益	81,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,488
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,483

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社役員に関する事項 (2019年9月30日現在)

取締役及び監査役

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況等
取締役会長 (取締役会議長)	真鍋 精志	グループ経営全般に関すること 地方独立行政法人大阪市博物館機構 理事長
取締役	佐藤友美子	追手門学院大学地域創造学部 教授、追手門学院大学成熟社会研究所長、 日本放送協会経営委員会 委員
取締役	村山 裕三	同志社大学大学院ビジネス研究科 教授
取締役	齊藤 紀彦	株式会社きんでん 特別顧問、近畿車輛株式会社 社外取締役、 西日本高速道路株式会社 取締役会長 (社外取締役)
取締役	宮原 秀夫	大阪大学大学院情報科学研究科 招聘教授、一般財団法人アジア太平洋研究所 理事・所長、 一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事、大阪瓦斯株式会社 社外取締役
取締役	高木 光	京都大学大学院法学研究科 教授
代表取締役社長	来島 達夫	「経営の3本柱」に関すること 「JR西日本グループ中期経営計画2022」及び 「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」の推進に関すること
代表取締役副社長	緒方 文人	社長補佐全般、安全性向上に関すること、鉄道技術の革新に関すること、 鉄道本部、安全研究所、構造技術室、建設工事事務担当
代表取締役副社長	長谷川一明	社長補佐全般、福知山線列車事故ご被害者対応本部、福知山線列車事故対策審議室、創造本部担当
代表取締役副社長	平野 賀久	社長補佐全般、鉄道本部新幹線鉄道事業本部担当
取締役	倉坂 昇治	監査部、企業倫理・リスク統括部、秘書室、総務部、広報部、人事部、財務部担当
取締役	中村圭二郎	安全性向上に関すること、鉄道本部安全推進部担当
取締役	松岡 俊宏	新幹線の安全・技術等中長期的な戦略に関すること 近畿車輛株式会社 社外取締役
取締役	杉岡 篤	変革の推進に関すること、総合企画本部、IT本部、東京本部担当
取締役	川井 正	近畿統括本部担当
常勤監査役	柴田 信	
常勤監査役	西川 直輝	
監査役	勝木 保美	勝木公認会計士事務所 公認会計士 住友精化株式会社 社外取締役、サカタイムズ株式会社 社外取締役
監査役	筒井 義信	日本生命保険相互会社 代表取締役会長、株式会社帝国ホテル 社外取締役、 パナソニック株式会社 社外取締役、株式会社三井住友フィナンシャルグループ 社外取締役

(注) 1. 取締役佐藤友美子、村山裕三、齊藤紀彦、宮原秀夫及び高木光の5氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

2. 監査役勝木保美及び筒井義信の2氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

3. 2019年12月1日に次のとおり異動がありました。

取締役副会長	来島 達夫	(代表取締役社長)
代表取締役社長	長谷川 一明	(代表取締役副社長)
()	内	は異動前の地位

「企業理念」・「安全憲章」

安全を最優先する企業風土の構築に向けて、当社のめざすべき姿、全社員が共有すべき価値観等を示した「企業理念」を制定し、2006年4月1日から施行しております。あわせて、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的に行動を起こせるよう、安全に関する具体的な行動指針として「安全憲章」についても大幅な見直しを行いました。今後も引き続き、この「企業理念」「安全憲章」の具現化を図り、安全性向上、信頼回復に全力で取り組んでまいります。

JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかげがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切に、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかげがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めます。

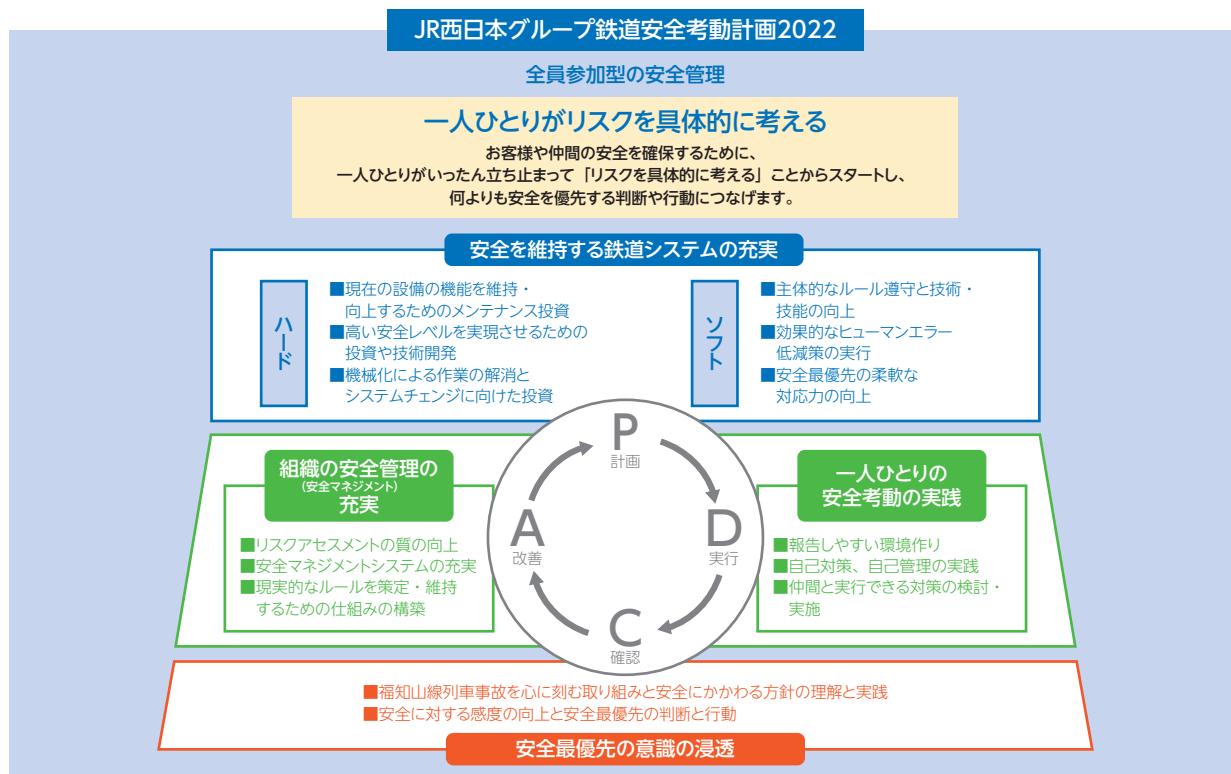
1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」

「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」は、「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」という変わらぬ決意のもと、原点に立ち返り、安全を追求するために策定しました。社会からの信認を得られるよう、JR西日本グループが一丸となって、本計画を確実に遂行していきます。

「安全最優先の意識の浸透」を土台とし、「組織の安全管理の充実」「一人ひとりの安全考動の実践」を通じて、「安全を維持する鉄道システム」の充実を図り、「全員参加型の安全管理」を実現し、重大な事故・労災の未然防止をめざします。

具体的には、直面する状況において、お客様や仲間の安全を確保するために、一人ひとりがいったん立ち止まって「リスクを具体的に考える」ことからスタートし、何よりも安全を優先する判断や行動につながります。



JR西日本グループの概要 (2019年9月30日現在)

当社グループは、当社、子会社152社及び関連会社22社で構成され、その営んでいる主要な事業及びグループ会社の概要は、次のとおりであります。

運輸業

〈鉄道事業〉

- ・嵯峨野観光鉄道(株)
- ・関西高速鉄道(株)※
- ・大阪外環状鉄道(株)※

〈旅客自動車運送事業〉

- ・中国ジェイアールバス(株)
- ・西日本ジェイアールバス(株)

〈船舶事業〉

- ・JR西日本宮島フェリー(株)

流通業

〈百貨店業〉

- ・(株)ジェイアール西日本伊勢丹

〈物販・飲食業〉

- ・(株)ジェイアール西日本デイリーサービスネット
- ・(株)ジェイアール西日本フードサービスネット

- ・(株)ジェイアールサービスネット広島
- ・(株)ジェイアールサービスネット岡山
- ・(株)ジェイアールサービスネット金沢
- ・(株)ジェイアールサービスネット福岡
- ・(株)ジェイアール西日本ファッショングッズ

〈各種物品等卸売業〉

- ・ジェイアール西日本商事(株)

〈その他流通業〉

- ・JR西日本山陰開発(株)

不動産業

〈不動産販売・賃貸業〉

- ・京都駅ビル開発(株)
- ・大阪ターミナルビル(株)
- ・JR西日本不動産開発(株)
- ・JR西日本プロパティーズ(株)

〈ショッピングセンター運営業〉

- ・JR西日本SC開発(株)

- ・京都駅ビル開発(株)
- ・富山ターミナルビル(株)
- ・山陽SC開発(株)
- ・金沢ターミナル開発(株)
- ・神戸SC開発(株)
- ・中国SC開発(株)
- ・(株)和歌山ステーションビルディング

- ・(株)新大阪ステーションストア
- ・JR西日本大阪開発(株)
- ・(株)京都駅観光デパート

その他

〈ホテル業〉

- ・(株)ジェイアール西日本ホテル開発
- ・(株)ホテルグランヴィア広島
- ・(株)ホテルグランヴィア大阪
- ・(株)ホテルグランヴィア岡山
- ・和歌山ターミナルビル(株)
- ・(株)奈良ホテル

〈旅行業〉

- ・(株)日本旅行

〈貸自動車業〉

- ・JR西日本レンタカー&リース(株)

〈広告業〉

- ・(株)JR西日本コミュニケーションズ

〈車両等設備工事業〉

- ・(株)JR西日本テクノス
- ・(株)ジェイアール西日本新幹線テクノス

〈機械等設備工事業〉

- ・(株)JR西日本テクノシア

〈電気工事業〉

- ・西日本電気テック(株)
- ・西日本電気システム(株)

〈電気製造業〉

- ・(株)てつでん

〈土木・建築等コンサルタント業〉

- ・ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)

〈建設事業〉

- ・大鉄工業(株)
- ・(株)レールテック
- ・(株)ジェイアール西日本ビルト
- ・広成建設(株)※

〈清掃整備事業〉

- ・(株)JR西日本メンテック
- ・(株)JR西日本広島メンテック
- ・(株)JR西日本金沢メンテック
- ・(株)JR西日本福岡メンテック

- ・(株)JR西日本岡山メンテック

- ・(株)JR西日本福知山メンテック

- ・(株)JR西日本米子メンテック

〈情報サービス業〉

- ・(株)JR西日本ITソリューションズ
- ・鉄道情報システム(株)※

〈その他〉

- ・(株)ジェイアール西日本リネン
- ・(株)ジェイアール西日本総合ビルサービス
- ・(株)ジェイアール西日本マルニックス
- ・JR西日本フィナンシャルマネジメント(株)
- ・(株)JR西日本カスタマーリレーションズ
- ・(株)JR西日本交通サービス
- ・(株)ジェイアール西日本ウェルネット
- ・(株)JR西日本イノベーションズ

(注) ※は、持分法適用関連会社を示しております。

株主様アンケート集計結果のご報告

2019年6月～7月に実施いたしました株主様アンケートにつきまして、多くの株主様にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。主な集計結果を以下のとおりご報告申し上げます。

《実施概要》

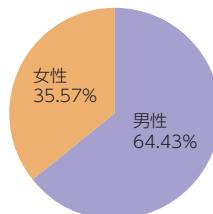
実施期間：2019年6月21日～7月31日(必着)

対象：2019年3月末時点で100株以上保有の株主様

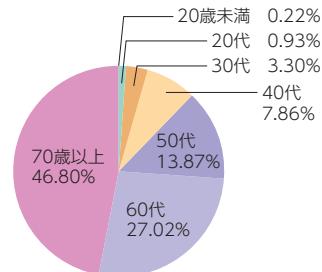
回答数：17,979名

株主様について

●性別

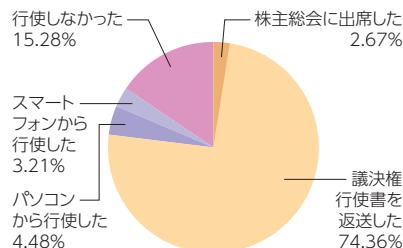


●年齢

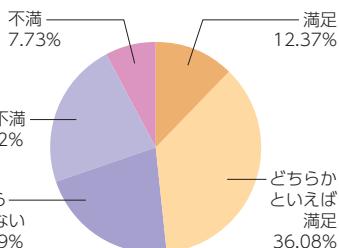


株主総会について

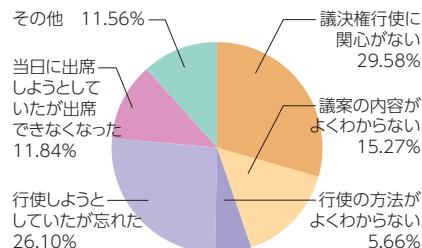
Q 当社の今年の株主総会について、議決権を行使されましたか？



Q 株主総会に対する評価をお聞かせください。

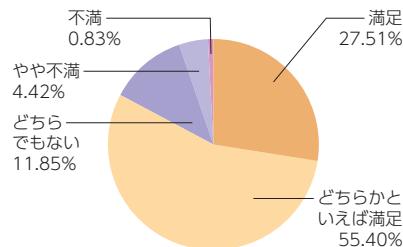


Q 議決権を行使されなかった理由は何か？



当社について

Q 株主様として当社の評価をお聞かせください。



Q 株主様として、当社の経営に望まれること。

「安全安定輸送に徹して、企業理念の追求をし、サービス向上の一層の努力を希望します。」「自然災害が各地で発生していますがどの様な状態でも常に高度な知識・技能で安全安心な鉄道輸送をしてほしい。」など「安全」に関するお声が最も多く、その他にも、「地域との協力、街づくりへの貢献等、益々の楽しい旅づくり(列車の旅)をお願いします。」といった「地域共生」に関するお声や、「環境」や増加している訪日客への対応に関するお声も多数いただきました。

ご回答いただきました結果を踏まえ、よりわかりやすい情報開示など、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、毎年5月下旬に以下のような「株主優待割引券」(以下「優待券」という。)をご送付いたします。

鉄道優待割引

送付枚数

保有株式数	鉄道優待券(通常発行)	鉄道優待券(追加発行) 1単元(100株)でも3年以上継続保有 追加はございません
100株～299株	100株ごとに1枚	
300株～499株	100株ごとに1枚	1枚追加
500株～999株	100株ごとに1枚	2枚追加
1,000株～1,099株	100株ごとに1枚	3枚追加
1,100株～10,099株	10枚+1,000株超過分 200株ごとに1枚	3枚追加
10,100株～19,999株	55枚+10,000株超過分 300株ごとに1枚	3枚追加
20,000株～	100枚	3枚追加

割引率

- 優待券1枚のご使用で50%割引
※2枚以上の同時使用はできません。

割引対象のきっぷ

- 運賃……片道乗車券
- 料金……特急券、急行券、グリーン券及び指定席券
- 1枚の優待券で運賃と料金ともに割引となります。
- ※寝台を利用する場合は、運賃・料金とも割引の対象としません。
- ※グランクラスを利用する場合は、運賃のみを割引の対象とし料金は割引の対象といたしません。

割引対象の区間

- 当社の営業路線内

取扱箇所

- 当社の駅の「みどりの窓口」等
※当社係員がいない駅など、一部お取扱いできない駅があります。

京都鉄道博物館優待割引

送付枚数 一律1枚

割引率 50%割引

- ※1枚の使用で、最大2名様(同時入場に限る)まで

JR西日本ホテルズ優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券	レストラン優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚	100株ごとに2枚
1,100株～10,099株	15枚	30枚
10,100株～19,999株	20枚	40枚
20,000株～	25枚	50枚

割引率

- 宿泊優待………1泊1室の基本室料を30%割引
- レストラン優待……5名様までのご飲食料金を10%割引
※一部ご利用いただけないレストランがあります。

対象となるホテル

- JR西日本ホテルズの各ホテル

ヴィアイン優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚
1,100株～10,099株	15枚
10,100株～19,999株	20枚
20,000株～	25枚

割引率

- 1泊1室の基本室料を20%または30%割引
- 対象となるホテル
- 20%割引…ヴィアイン姫路
 - 30%割引…上記以外のヴィアイン全ホテル

JR西日本ファーストキャビン優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚
1,100株～	10枚

割引率

- 1泊1室の基本室料を30%割引
- 対象となるホテル
- ファーストキャビンステーションあべの荘
 - ファーストキャビンステーション和歌山駅
 - ファーストキャビンステーション京都梅小路RYOKAN

広島ダイヤモンドホテル優待割引

送付枚数 一律各1枚

割引率

- 宿泊優待………1泊1室の基本室料を30%割引
- レストラン優待……5名様までのご飲食料金を10%割引
※ホテル1階[レストラン ダイアナ]及び別館[日本料理 花野]に限る。

ジェイアール西日本伊勢丹優待割引

送付枚数

保有株式数	お買物	レストラン・喫茶、美容室	写真室、貸衣装	駐車場
100株～499株	100株ごとに3枚	3枚	1枚	6枚
500株～1,099株	100株ごとに3枚	6枚	2枚	12枚
1,100株～10,099株	45枚	6枚	2枚	12枚
10,100株～19,999株	60枚	6枚	2枚	12枚
20,000株～	75枚	6枚	2枚	12枚

割引率

- お買物、レストラン・喫茶、美容室、写真室、貸衣装の各優待…10%割引
- 駐車場優待…お買物による駐車サービス(通常2時間)を1時間延長

対象となる店舗

- ジェイアール京都伊勢丹
- ルックア大阪内イセタン各ショップ(お買物優待のみご利用いただけます)

日本旅行優待割引

送付枚数 一律1枚

割引率(1枚で2名様までご利用可能)

- 国内旅行商品「赤い風船」5%割引
- 海外旅行商品「マッハ」5%割引、「ベストエクセレント」3%割引、「ベスト」3%割引

対象となる店舗

- 日本旅行の直営店舗(一部店舗を除く)

駅レンタカー優待割引

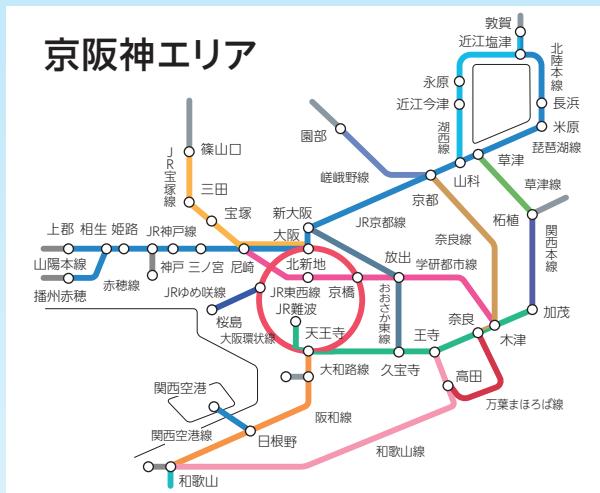
送付枚数 一律3枚

割引率 基本料金の20%割引(1枚で1台の貸渡にご利用いただけます)

対象となる店舗

- JR西日本レンタカー&リースの駅レンタカー各営業所(一部店舗を除く)

JR 西日本営業エリアマップ (2019年9月30日現在)



- 新幹線
- 在来線
- - - 他JR線(新幹線)
- 他JR線(在来線)
- 会社境界駅(当社の駅)
- 会社境界駅(JR他社の駅)

株式に関する事項 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 800,000,000株
発行済株式の総数 191,334,500株

(注) 1. 発行済株式総数には、自己株式の648株を含んでおります。
2. 2019年8月15日に実施した自己株式の消却により、発行済株式の総数は、前事業年度末と比べて1,146,900株減少しております。

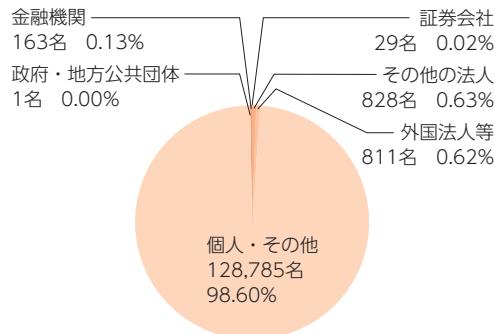
株主数 130,617名
上位10名の株主

株主名	持株数(持株比率)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,516,200株 (7.06%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,026,574 (5.24)
株式会社三井住友銀行	6,400,000 (3.34)
株式会社三菱UFJ銀行	6,300,000 (3.29)
日本生命保険相互会社	4,000,000 (2.09)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	3,577,700 (1.87)
JR西日本社員持株会	3,339,300 (1.75)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	3,315,100 (1.73)
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,249,840 (1.70)
三井住友信託銀行株式会社	3,200,100 (1.67)

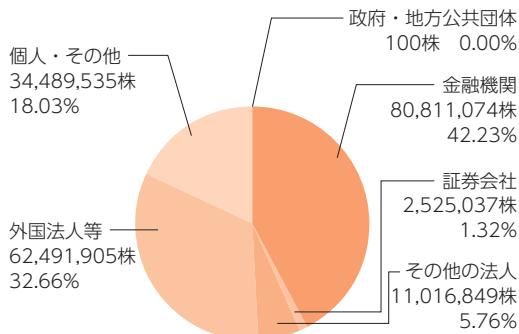
(注) 持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式648株を除いております。

所有者別分布状況

株主数



所有株式数



(注) 「個人・その他」には、自己株式648株を含んでおります。

株主様限定 当社施設見学会のご案内

株主の皆様にご理解を一層深めていただけるよう、次のとおり施設見学会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

「Umekoji Potel KYOTO (梅小路ポテル京都)」での開業前の試泊&「京都鉄道博物館」自由見学
2020年春頃に開業を予定している新ブランドホテル「Umekoji Potel KYOTO (梅小路ポテル京都)」にご試泊いただき、翌日は「京都鉄道博物館」を自由に見学していただけます。 ※諸般の都合により、内容が一部変更となる場合があります。



見学場所 Umekoji Potel KYOTO (京都市下京区観喜寺町)
※Umekoji Potel KYOTOについては、8ページをご参照ください。
京都鉄道博物館 (京都市下京区観喜寺町)

試泊日 2020年5月30日(土)～31日(日) (予定)

募集人数 同伴者様を含め50組100名様
※株主1名様につき、同伴者1名様まで可。
なお、同伴者は株主の方でなくても結構です。

注意事項 「Umekoji Potel KYOTO (梅小路ポテル京都)」については、開業前の試泊のため、十分にサービスが行き届かない場合があるかと存じますが、あらかじめご了承ください。また、夕食の準備はございません。朝食のみご用意させていただきます。



「Umekoji Potel KYOTO」の写真はイメージです。

ご応募について

対象者 2019年9月30日現在、当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様

参加費 無料
※ただし、集合・解散場所までの往復交通費等は参加者様のご負担をお願いいたします。
※駐車場はご用意しておりませんので、お車のご来場はご遠慮ください。

応募方法 同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入いただき、お申込みください。
なお、応募多数の場合は、ご所有株式数100株(1単元)につき1口のお申込みとして、抽選させていただきます。

※参加申込はがきには、同伴者の有無、ご連絡先となる電話番号を必ずご記入ください。(お名前・ご住所のご記入は不要です。)

※当社株式を3年以上継続保有されている株主様は、当選倍率の優遇をさせていただきます。

応募締切 2020年1月17日(金) 必着

抽選結果及び詳細のご連絡 抽選結果のご連絡及びご参加いただく株主様への詳しいご案内は、2019年9月30日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に、2020年3月下旬～4月上旬頃に送付予定です。

- その他**
- ご応募に際していただいた個人情報は、施設見学会の実施及び今後の株主様向け活動のためにのみ使用し、他の目的には使用いたしません。
 - 当日、当社にて撮影した写真等は、当社のIR・広報活動等において使用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 - 荒天等、諸般の事情により内容が変更または中止となる場合があります。その場合は当選された株主様にご連絡を差しあげます。
 - 当選した権利を他人(ご家族、他の株主様を含む)に譲渡することはできませんのでご了承ください(ネットオークションへの出品を含め、転売目的のご応募は固くお断りいたします)。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
(ホームページURL)	https://www.westjr.co.jp/company/ir/koukoku/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smb.jp/personal/agency/index.html

株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手続き(届出住所、姓名等の変更、配当金の振込方法、振込先の変更、単元未満株式の買取・売渡請求等)のご照会及びお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、以下のいずれかの窓口にご連絡ください。
(証券会社で口座開設されている株主様)
当該証券会社にご連絡ください。
(証券会社で口座を開設されていない株主様)
三井住友信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の施行日(2009年1月5日)前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行に開設された口座(特別口座)に記録されております。特別口座の詳細につきましては、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問合わせください。

マイナンバー制度のご案内について

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主様のマイナンバーが必要となりますので、口座のある証券会社にお届出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問合わせください。



※この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。